

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 4 年 3 月 8 日(2022.3.8)

【公開番号】 特開 2020-114368(P2020-114368A)
【公開日】 令和 2 年 7 月 30 日(2020.7.30)
【年通号数】 公開・登録公報 2020-030
【出願番号】 特願 2019-6840(P2019-6840)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 4 年 2 月 28 日(2022.2.28)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者による特定動作を検出して受付ける受付手段と、

遊技者による特定動作の対象となる対象物が画像として表現された摸画像表示を表示可能な摸画像表示手段と、

遊技者による特定動作の受け付けが許容される受付状態を発生可能であり、該受付状態において遊技者による特定動作が受け付けされるとこれを契機として表示変化を生じさせる受付状態実行手段と

30

を備え、

前記受付状態として、第 1 受付状態及び第 2 受付状態を含めて、複数の受付状態が用意されており、

前記第 1 受付状態と前記第 2 受付状態とのいずれにおいても文字情報が表示されるが、それら文字情報は、前記第 1 受付状態と前記第 2 受付状態とで遊技者による動作として同じ特定動作が受付対象とされるにもかかわらず互いに異なる文字情報として表示され、

前記第 1 受付状態が発生する場合にこれに対応する所定の文字情報が表示されてから非表示にされるまでの時間と、前記第 2 受付状態が発生する場合にこれに対応する特定の文字情報が表示されてから非表示にされるまでの時間とは互いに異なるようになっており、

40

前記第 2 受付状態では、前記特定の文字情報が表示されている期間と、前記特定の文字情報が表示されていない期間とが順次に現れるようになっており、当該第 2 受付状態のうち前記特定の文字情報が表示されている期間で遊技者による特定動作が受け付けされた場合と、当該第 2 受付状態のうち前記特定の文字情報が表示されていない期間で遊技者による特定動作が受け付けされた場合とでは、該受け付けに応じた前記表示変化としての態様が異なっており、

さらに、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて複数の変動パターンのいずれかを選択し、該選択した変動パターンで図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段と

を備え、

50

前記第2受付状態は、第1変動パターンで図柄変動が実行開始されてから所定時間が経過したときに特定BGMが可聴出力されているなかで発生する場合と、前記第1変動パターンとは異なる第2変動パターンで図柄変動が実行開始されてから特定時間が経過したときに特定BGMが非可聴状態にされているなかで発生する場合との両方があり、

さらに、

前記特定BGMが可聴出力されているなかで前記第2受付状態が発生した場合であっても、前記特定BGMは、該第2受付状態が継続しているなかで非可聴状態にされうるようになっており、

さらに、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数未満の状況にあるときに前記第1変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、前記第2受付状態は、該図柄変動が実行開始されてから前記所定時間が経過したときに発生する場合と、該図柄変動が実行開始されてから前記所定時間が経過しても発生しない場合との両方があるが、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数以上の状況にあるときに前記第1変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、前記第2受付状態は、該図柄変動が実行開始されてから前記所定時間が経過したときに発生する場合がないことを特徴とする遊技機。

10

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者による特定動作を検出して受け付ける受付手段と、

遊技者による特定動作の対象となる対象物が画像として表現された摸画像表示を表示可能な摸画像表示手段と、

遊技者による特定動作の受け付けが許容される受付状態を発生可能であり、該受付状態において遊技者による特定動作が受けされるとこれを契機として表示変化を生じさせる受付状態実行手段と

30

を備え、

前記受付状態として、第1受付状態及び第2受付状態を含めて、複数の受付状態が用意されており、

前記第1受付状態と前記第2受付状態とのいずれにおいても文字情報が表示されるが、それら文字情報は、前記第1受付状態と前記第2受付状態とで遊技者による動作として同じ特定動作が受付対象とされるにもかかわらず互いに異なる文字情報として表示され、

前記第1受付状態が発生する場合にこれに対応する所定の文字情報が表示されてから非表示にされるまでの時間と、前記第2受付状態が発生する場合にこれに対応する特定の文字情報が表示されてから非表示にされるまでの時間とは互いに異なるようになっており、

40

前記第2受付状態では、前記特定の文字情報が表示されている期間と、前記特定の文字情報が表示されていない期間とが順次に現れるようになっており、当該第2受付状態のうち前記特定の文字情報が表示されている期間で遊技者による特定動作が受けされた場合と、当該第2受付状態のうち前記特定の文字情報が表示されていない期間で遊技者による特定動作が受けされた場合とでは、該受けに応じた前記表示変化としての態様が異なっており、

さらに、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて複数の変動パターンのいずれかを選択し、該選択した変動パターンで図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段と

50

を備え、

前記第 2 受付状態は、第 1 変動パターンで図柄変動が実行開始されてから所定時間が経過したときに特定 B G M が可聴出力されているなかで発生する場合と、前記第 1 変動パターンとは異なる第 2 変動パターンで図柄変動が実行開始されてから特定時間が経過したときに特定 B G M が非可聴状態にされているなかで発生する場合との両方があり、

さらに、

前記特定 B G M が可聴出力されているなかで前記第 2 受付状態が発生した場合であっても、前記特定 B G M は、該第 2 受付状態が継続しているなかで非可聴状態にされうるようになっており、

さらに、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数未満の状況にあるときに前記第 1 変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、前記第 2 受付状態は、該図柄変動が実行開始されてから前記所定時間が経過したときに発生する場合と、該図柄変動が実行開始されてから前記所定時間が経過しても発生しない場合との両方があるが、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数以上の状況にあるときに前記第 1 変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、前記第 2 受付状態は、該図柄変動が実行開始されてから前記所定時間が経過したときに発生する場合がない

ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50